



平成24年(ワ)第3671号, 平成25年(ワ)第3946号, 平成27年(ワ)第287号

大飯原子力発電所運転差止等請求事件

原告 竹本修三 外2690名

被告 関西電力株式会社 外1名

## 証 拠 説 明 書

平成28年1月6日

京都地方裁判所第6民事部 御中

被告訴訟代理人 弁護士 小 原 正 敏



弁護士 田 中 宏



弁護士 西 出 智 幸



弁護士 原 井 大 介



弁護士 森 拓 也



弁護士 辰 田 淳



弁護士 今 城 智 徳



弁護士 山 内 喜



明

弁護士 中 室



祐

号証	標 目 (原本・写しの別)		作成年月日	作成者	立 証 趣 旨
丙 47	外部溢水勉強会検討 結果について	写し	H18. 8. 2	原子力安全・ 保安院	外部溢水に関する勉強会は、 津波に対する発電所の安全 性は十分に確保されている ことを前提とした上で、あく までも仮定という位置づけ で、想定外津波に対するプラ ントの耐力について検討を 実施したものであること等
丙 48	基準津波及び耐津波 設計方針に係る審査 ガイド	写し	H25. 6. 19	原子力規制委 員会	被告関西電力株式会社によ る基準津波の策定は、新規制 基準の下で原子力規制委員 会が定めた標記審査ガイド に則って、適切に行われてい ること
丙 49	大飯発電所 3号炉及 び 4号炉 津波に対 する施設評価につい て (抜粋)	写し	H27. 12	被告関西電力 株式会社	被告関西電力株式会社は、大 飯 3, 4号機の「安全上重要 な設備」の津波に対する安全 性を評価するにあたって、適 切に入力津波を設定してい ること等
丙 50	大飯発電所 地盤 (敷地周辺, 敷地近 傍の地質・地質構造) について (抜粋)	写し	H27. 3. 13	被告関西電力 株式会社	被告関西電力株式会社は、F O-C断層について、海域活 断層調査の結果、長さ約 2.5kmの短い断層と評価して いること
丙 51	若狭湾沿岸における 天正地震による津波 について (コメント 回答)	写し	H24. 6. 22	原子力安全・ 保安院	第 8 回意見聴取会 (平成 23 年 12 月 27 日) 及び第 9 回意 見聴取会 (平成 24 年 1 月 25 日) における委員からの指摘 事項に関して、被告関西電力 株式会社が、第 17 回意見聴 取会 (平成 24 年 6 月 22 日) において、津波堆積物調査地 点の適切性、追加調査の結 果、及びボーリング試料の分 析結果を報告していること

丙 52	関西電力株式会社高浜発電所の発電用原子炉設置変更許可申請書（3号及び4号発電用原子炉施設の変更）に関する審査書（案）に対するご意見への考え方（抜粋）	写し	H27. 2	原子力規制委員会	高浜発電所3号機及び4号機に関する原子力規制委員会の審査において、発電所の安全性に影響を与えるような津波の痕跡は認められないことを確認している旨の見解が原子力規制委員会より示されていること
丙 53	津波高図	写し	H24. 9. 3	福井県危機対策・防災課	福井県作成の津波シミュレーション結果（甲 221）の資料4において、大飯発電所取水口付近の津波高は2～3mと想定されていること
丙 54	波源・市町別 沿岸部までの津波高一覧	写し	H24. 9. 3	福井県危機対策・防災課	福井県作成の津波シミュレーション結果（甲 221）の資料1において、おおい町の沿岸部までの最大津波高は5.01mと想定されていること